

れいわ新選組機関誌

れいわPRESS

第11号

2025年9月15日発行

初登院から約1年!
今の気持ちを直撃 Vol.1
やはた愛

れいわ新選組
所属議員、
魂の国会質問 (第7弾)

高井たかし、佐原若子、上村英明、
やはた愛、天畠大輔、山本太郎、
大島九州男、くしぶち万里

議員めし Vol.8
伊勢崎賢治

<https://reiwa-shinsengumi.com/>

初登院から約1年！今の気持ち直撃

2024年11月11日に初登院したやはた愛議員に、約1年間の議員生活についてコメントをいただきました。

vol.01

衆議院議員
やはた愛

——初登院から約1年、今のお気持ちを教えて下さい。

たこと、つらかったことを教えて下さい。

初登院のドキドキやワクワクがおぼろげになり遠い記憶となってしまうくらい、老けました（笑）。

応援くださる皆さまのおかげで、雨が降ろうがヤジが飛ばうが、心折れずに毎日濃密な時間を過ごし、日々成長できたと、今胸を張って言えます。

そして、自分は皆さんの代弁者だという思いは初登院の日より強くなっています。

——この1年、うれしかったこと、つらかったことを教えて下さい。

れいわ新選組は新人であっても順次、様々なチャンスが巡ってきます。他党の同期議員からは、本会議登壇するまでに普通は何年もかかるのに羨ましいと、数多く言われました。日曜討論への出演も叶い、街で声をかけられることも増え、れいわを広げる一翼を担うことができていると感じられたので嬉しかったです。尚、悔しいことは多々あれど、辛いと感じたことは特にありません！

——通常国会に出て感じたことがあれば教えて下さい。

野党も与党も茶番だという、れいわ新選組が一番国会に希望を持っているんだと感じました。国会を諦めていないからこそ、それぞれの議員が限られた時間の中で必死で総理や大臣に質問をぶつけます。

例えば、所属委員会にもありますが、地元の支持者を喜ばせるような質問しかない議員もたくさんいる中、私たちは当然、この国に生きる全ての人々の為に仕事をいたします。

たとえ数分の質問でも全力で挑みます。

それは誰よりも、政治で変えられる！ 変えるしかない！ と思っているからです。

そしてこの熱は、必ず党派を越えていくと私は信じています。

——国会議員の日常で、驚いたことや意外だと感じたことがあれば教えて下さい。

通路やエレベーターの中などで、意外と話しかけてくださる他党の先輩方が多いことに驚きます。ヤジが吹き荒れた本会議登壇の後、

初めての通常国会において、委員会や本会議を合わせて、私は37回質問に立たせていただきました。しか

与党議員や大臣クラスの方から「君はそのままでもいい」と言われました。（貴方は変われよと私は思っているから）

与党も野党も、れいわ新選組議員が次はどんな質問をするのかと目が離せない模様です！

——れいわ新選組の議員として、この先の目標や目指していることを教えて下さい。

初めての通常国会において、委員会や本会議を合わせて、私は37回質問に立たせていただきました。しか

やはた・あい

1987年兵庫県出身。グラビアアイドルやタレント活動の他リポーターやラジオDJも務める。2020年よりれいわ新選組としての活動を開始し2023年11月衆議院大阪府第13区総支部長に就任。

し、山積する問題を少しでも前に進めるような答弁を総理や大臣から得ることはできませんでした。食いがつても引き出せなかった時はとても悔しかったです。代表のように、前進させる答弁を取れるような巧みな質問ができる政治家になりたいです。精進します。

——他、読者に言いたいことがあれば一言お願いします。

とんでもない勢力が台頭する世の中だからこそ、れいわ新選組の存在意義が問われています。自信を持ってまいりましょう！生きてて良かったと思える社会をつくりましょう。そして、共に生きましょう！



「地元の支持者を喜ばせるような質問しかない議員もたくさんいる中、私たちがれいわ新選組はこの国に生きる全ての人々の為に仕事をいたします。誰よりも、政治で変えられることを信じているから」

れいわの議員が多すぎて
誰がどんな質問をしているのか
チェックするのが大変! というあなたに——。

魂の国会質問

れいわ新選組
所属議員たちの
第7弾

4月8日から4月15日

2025年1月24日に開会した通常国会より、れいわ新選組に所属する議員たちの注目の国会質疑を要約してピックアップ! 第7弾の今回は8項目の質疑を、写真と共に紹介します。

衆議院議員 高井^{たか}たかし

2025年4月8日 厚生労働委員会

1

この日は、厚生労働省所管の内閣提出法案「薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)改正案」の参考人質疑が行われました。

改正による医薬品の安全性、有効性に対する懸念と、
れいわ新選組としては反対している日本維新の会の提案による、
国民医療費の年間4兆円の削減の影響について、有識者や患者団体の意見を聴取しました。



現行の薬機法十四条の三項から
「臨床試験の試験成績」という文言を
削除したことについて、医薬品の安全性、
有効性という観点から、本当に大丈夫
なんだろうかとすることを危惧いたします。

たかい・たかし

1969年北海道函館市出身。れいわ新選組
幹事長。通算国会質問回数は225回。法案
提出数は119本。国会質疑衆議院議員1位。

動画はこちら



衆議院議員 佐原若子

2025年4月9日 経済産業委員会

半導体産業支援に関する法案質疑と反対討論です。

大規模な公的投資による産業支援は必要ですが、誰をも犠牲にせず、世界で歓迎されるものにしなければなりません。見通せない中小企業、地域社会への効果、PFAS (有機フッ素化合物のうち人工的に作られたフッ素が多い化合物の総称) などの環境問題、軍事転用の危険性、原発再稼働への流れを払しょくできない限り、法案には賛成できないと訴えました。



PFASは、がんなどの健康被害が指摘されております。予防原則が国の責任ではないでしょうか。

さわら・わかこ

1953年青森県五所川原市出身。歯科医師。
2024年れいわ新選組東北ブロック比例候補として出馬、当選。



動画はこちら

衆議院議員 上村英明

2025年4月8日 衆議院本会議

政府自らがハッカーになってサイバー攻撃を行う能動的サイバー防御ではなく、進めるべきは、回復力、レジリエンスの強化を含めた受動的サイバー防御力の向上です。そこに重点を置き、中小企業など社会基盤組織の情報セキュリティ対策を抜本的に底上げするとともに、緊張関係のある政府との関係を含む、広範で国際的な信頼醸成措置の構築こそが、平和国家日本が取るべき政策であることを改めて強調しました。

能動的サイバー防御二法案について、法案では同盟国、同志国との国際協調ばかりが強調され、現実には軍事部門のサイバー攻撃共同演習も行われています。軍事同盟の強化と言われても仕方ありません。



うえむら・ひであき

1956年熊本県出身。アイヌ民族や琉球民族の先住民族としての国連活動を支援。社団法人新時代アジアピースアカデミー理事、人権NGO市民外交センター元代表



動画はこちら

衆議院議員 ^{あい}やはた愛

2025年4月8日 農林水産委員会

「農政の最大の目的は食料の安定供給」。備蓄米が放出されたにもかかわらず米の価格は下がらず、大手スーパーでは輸入米やブレンド米を取り扱う動きが広がっています。

なぜ日本に居ながら海外米を食べなければならないのか。

農政が本来目指すべきは安定供給であると、改めて農水大臣に確認をし、輸出戦略の見直しや食料自給率の向上、財政出動による価格保障と所得補償を訴えました。

れいわ新選組がかねてより訴えている
財政出動による価格保障、そして
所得補償こそが消費者と生産者の対策を
同時に実行できる施策だと考えます。



動画はこちら

やはた・あい

1987年兵庫県出身。グラビアアイドルやタレント活動の他リポーターやラジオDJも務める。2020年よりれいわ新選組としての活動を開始し2023年11月衆議院大阪府第13区総支部長に就任。



参議院議員 ^{てん ばた だい すけ}天畠大輔

2025年4月8日 厚生労働委員会

労働安全衛生法等改正案審議において、
職場のメンタルヘルス対策・高齢者の労災防止対策の実効性を
どのように担保するのか政府に問いました。

具体的には、週30時間未満の短時間労働者に対するメンタルヘルス対策が
後回しになっている点を指摘しつつ、それらをさらに強化するための産業医制度の拡充を求めました。
また、事業主が取り組む高齢者の労災防止対策への財政支援の強化等を訴えました。



政府は同一労働同一賃金を推進し、雇用形態を理由とした不合理な待遇格差を是正することを目的として、パートタイム・有期雇用労働法を作ったはずですが、労働時間によってストレスチェックの対象範囲を狭めることは、この法の趣旨に反するのではないのでしょうか。

てんばた・だいすけ

1981年生まれ。14歳の時、医療ミスにより、四肢麻痺・視覚障がい・嚥下障がい・発話障がいを負い、重度の障がい者となり車椅子生活を余儀なくされる。2020年に一般社団法人わをんを立ち上げ、重度障がい当事者の支援活動を開始。



動画はこちら

参議院議員 山本太郎

2025年4月11日 東日本大震災復興特別委員会

6

福島第一原発では、高濃度廃液による作業員の被曝、高濃度洗浄液の漏出事故、焼却施設の水蒸気発生事故、電源ケーブル損傷などトラブルが続発。安全管理のずさんさが深刻です。東京電力は手順書の不備やリスク想定不足を認めつつも、責任者への処分はなく、規制委員会も軽微な違反として罰則を科していません。このままでは再発防止は難しく、厳しい規制と罰則が必要だ、と訴えました。



これだけのとんでもないトラブルをコンスタントにやらかしておいて、能力がないとしか言いようがないんですよ。それでもオッケーを出すんだから、東電から見たら規制委員会などちょろい存在ですね。規制委員会からの指導、規制のやり方も見直さなきゃいけないんじゃないですか

やまもと・たろう

1974年兵庫県宝塚市出身。れいわ新選組代表。2019年4月、独自で「れいわ新選組」を旗揚げ。草の根による国政政党設立へのチャレンジを始める。



動画はこちら

参議院議員 大島九州男

2025年4月15日 参議院内閣委員会

子どもたちのいじめや不登校、自殺の増加が深刻化する中、学校と社会全体が一体となった支援体制の構築が必要です。教員の研修強化やICT活用による個別対応、地域との連携を通じて、すべての子どもに安心できる教育環境を届けるべきだと訴えました。

極端な話、学力の二極化も進んでいる。経済格差が学力格差になる状況の中、こども家庭庁としてはあらゆる省庁と連携をして、家庭環境の改善や子供の心のケアをしっかりとやる環境を作ることが必要ではないでしょうか。



動画はこちら

おおしま・くすお

1961年生まれ。福岡県出身。平成3年より連続3期、直方市市議会議員を務めた。

2025年4月15日

衆議院東日本大震災復興・防災・災害対策に関する特別委員会

政治家になる前、N G Oで17年間活動して、国内外の災害支援にも携わってきました。
 阪神・淡路大震災が「ボランティア元年」と言われて30年経ちますが、能登半島地震も含め、
 災害のたびに同じ問題が繰り返されています。もはや災害ボランティア、災害N P Oの力なしには
 日本の災害支援は立ち行きません。専門家も指摘するように今回の災害対策基本法の改正では不十分。
 れいわ新選組の修正案のとおり、法律にきちんと書き込んでください。

災害が起きると、自治体職員も被災者。
 現場では、人が足りない！ 金も足りない!!
 ノウハウも足りない!!! 被災者を支援するNPOにも
 救助費や運営費を出せ！
 重機の費用や燃料費をこれからも出す、と約束しろ！



動画はこちら

くしぶち・まり

1967年群馬県沼田市出身。れいわ新選組共同代表、東京都第14区総支部長（墨田区・江戸川区北部）。元国際協力NGOピースポート共同代表・事務局長。



れいわ新選組議員の推しグルメを紹介！

議冒めし

腹が、減った…

Vol.8 伊勢崎賢治
おにぎりランチ

食事は、出されたものはなんでも美味しくいただきます。がモットーです。
 時間が取れないときは、手軽で早いコンビニです。
 今日はおにぎり2つ、お惣菜とお味噌汁。
 おにぎりもいろんな味があり楽しみながらいただいています。
 国会の中にも美味しいものがありそうなので、探索したいと思います。

れいわ新選組
HP はこちられいわオーナーズ
ご案内はこちら

あなたが、れいわ新選組のオーナーになりませんか？



ご寄附の受付

れいわ新選組は、皆さまからの寄附をお願いしております。
 頂きましたご寄附は、れいわ新選組が取り組んでいる政治活動、事務所運営費等に活用させていただきます。

れいわPRESS 第11号



発行・れいわ新選組 れいわPress編集部
 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル4階
 TEL:03-6384-1974